

PCR検査増やせ！ 三日月知事に要請 共産党議員団

コロナ感染でお亡くなりになられた方々にお悔やみ申し上げます。現在、治療中の方々の一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

滋賀 PCR検査

全国最低レベル

滋賀県でも、介護施設、病院でクラスターが発生し、感染病床が逼迫しています。

行う以外にないとしています。

日本共産党県議団は、8月4日、三日月大造知事に、日本共産党が安倍首相に提出した「新型コロナウイルス対策に関する緊急要望」を手渡し、感染拡大を阻止するために、PCR検査の大規模実施を要請しました。

要請では、現在の感染拡大を抑制するには、PCR検査を文字通り大規模に実施し、陽性を隔離・保護する取り組みを



R検査の大規模実施を要請しました。要請では現在の感染拡大を抑制するには、PCR検査を文字通り大規模に実施し、陽性を隔離・保護する取り組みを

全国最低のPCR検査

	人口	一日検査数
滋賀	141万人	196件
鳥取	55万人	196件
和歌山	91万人	716件
奈良	132万人	717件

7月末時点 厚労省発表

要請内容

- ① 感染震源地（エピセンター）を明確にし、その地域の住民、事業所の在勤者の全体に対して、PCR等検査を実施すること。大規模で網羅的な検査を行う目的は、診断目的でなく防疫目的であること、無症状者を含めて「感染力」のある人を見つけ出して隔離・保護し、感染拡大を抑制し、安全・安心の社会基盤をつくることにあることを明確にしてとりくむ。
- ② 地域ごとの感染状態がどうなっているのかの情報、住民に開示すること。
- ③ 医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など、集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員、出入り業者への定期的なPCR等検査を行うこと。必要におうじて、施設利用者全体を対象にした検査を行うこと。
- ④ 検査によって明らかになった陽性者を、隔離・保護・治療する体制を、緊急につくりあげること。

質問しました



杉本としたか 議員
積極的な検査戦略
に転換せよ！

杉本県議は、6月県議会で、コロナウイルスの防疫の観点からも、PCR検査を大幅に増やすよう三日月知事に求めました。質問日の7月2日の時点で、「滋賀の感染者数103人、PCR検査数は2409件で、全国19位。一方和歌山県では、早い時期に湯浅町の病院で感染者が出たため、仁坂知事が先頭に立って国の基準に抛らず徹底的なPCR検査を行った。その結果新たな感染症対策の発生を抑えることに成功している。和歌山のPCR検査数は滋賀の2倍の2409件、感染者数は64人。検査数を増やすことでコロナ封じ込めべきだ」と質問しました。知事は「しっかりと実行していきたい」と答えました。

また、「緊張の中で仕事をされている医療職員、介護、障害者施設職員の方へのPCR検査を増やすべき」と知事に求めました。

知事は「発熱がある場合検査が受けられる体制が重要」と答えましたが、7月末時点で1日検査数196件で全国で最低レベルです。発熱がなくても施設職員にはしっかりとPCR検査が必要です。議会が終わったその後も再三知事に申し入れを行っています。